



奉仕部を  
見学しよう！





服装の乱れは  
心の乱れ

みんな  
で  
気をつけて  
いきましょ

は、はい!

ありがとう  
ござい  
ました!



キレイだよ  
ね  
リンナ先輩!

ね!  
ドキドキ  
しちゃった

.....



あら  
いいわね  
あの娘.....

ウチに  
欲しいわ

ごきげんよう  
リンナさん

初めまして!

下層奉仕部の  
アリアです!

下層奉仕部  
ですか...

何か用ですか?  
急ぐのですか?

ええ!

はい?

リンナちゃん  
今年卒業でしょ?  
ぜひ奉仕部に  
来て欲しいな、って...

お断り  
します

ええええ!!  
はやー!!

奉仕部には  
興味あり  
ません!

えー  
どうして?



性交を  
している  
とか  
何か…

その…下層の  
住人に…体を  
許して…

ええっ!!

カッ??



悪い  
ウワサ…?

奉仕部の悪い  
ウワサを聞いて  
いるからです

うーん?



ならどうして  
そんなウワサを  
信じちゃうの?!

いいえ  
それは…

リンナちゃんは  
実際にそれを  
見たのかしら?!

いいえ  
それは…



ヒ、ヒドイわ!  
そんなのタダの  
ウワサよッ!



は、はあ…  
見学ですか…

わ、わかり  
ました…



その目で  
確かめるの…

下層奉仕部の  
お仕事を!

見学に  
来なさい!



すみま  
せんでした!

た、たしかに…!  
見てもいないのに  
信じるなんて…



それで：  
奉仕部はどんな  
お仕事を？

食料を届けたり  
お仕事を紹介  
したりね

今からする  
お仕事は  
健康状態の  
確認よ

健康状態  
ですか

やっぱり  
健康が一番  
大事だからね

なるほど…



失礼  
します…

リンナちゃんは  
奥で見ててね

あ、はい



着いたわ  
ここよ

こんにちは  
奉仕部です！



よろしく  
おねがいします

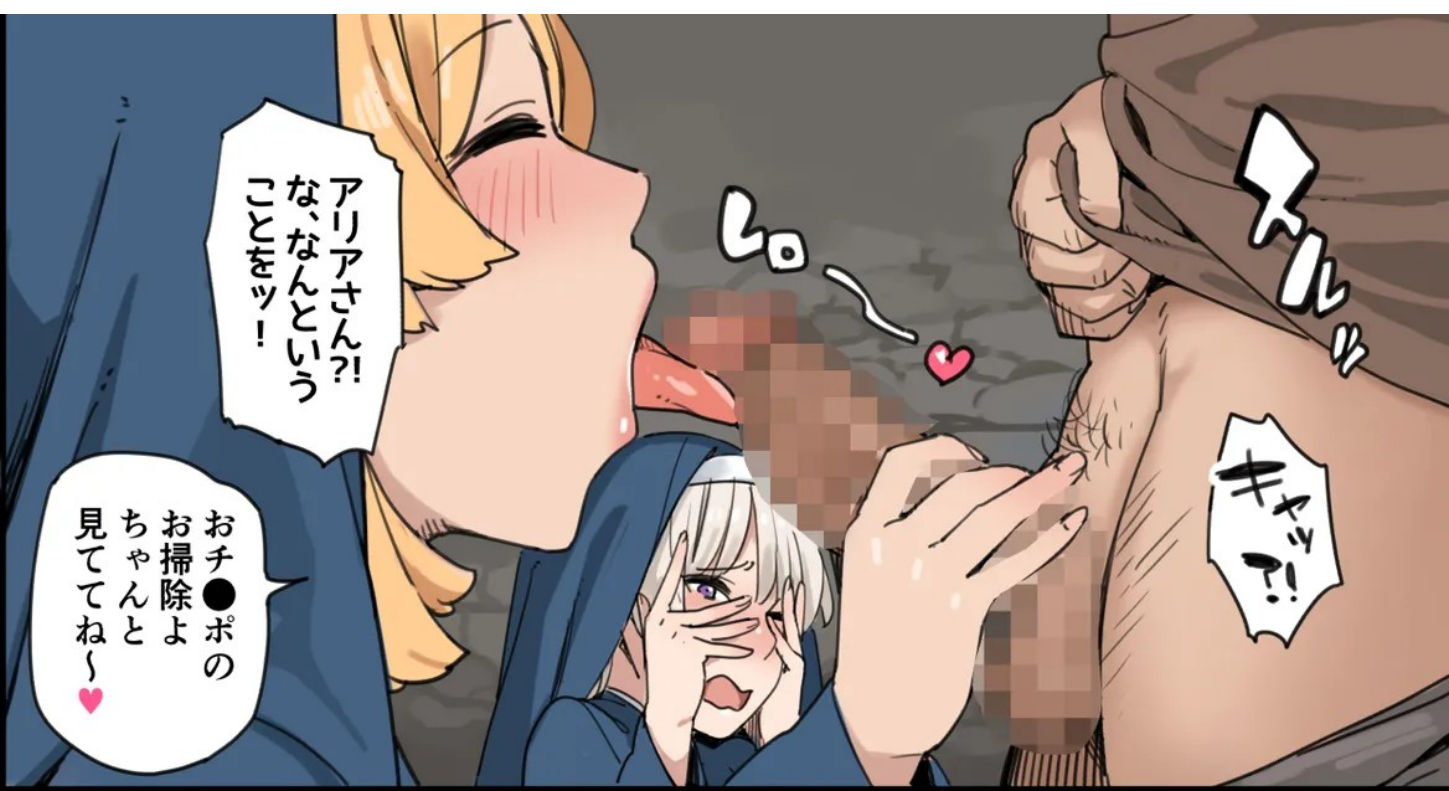
おう！

こんにちは！  
今日は見学  
の子がいます！

ギョッ…

それでは  
始めましょうか





アリアさん?!  
な、なんとという  
ことかッ!

おチ●ポの  
お掃除よ  
ちゃんと  
見ててね♡



臭いはず  
なのに!!何で  
あんな美味し  
そうに!!

く、ロウじゅんじゅん  
頬張って...ッ

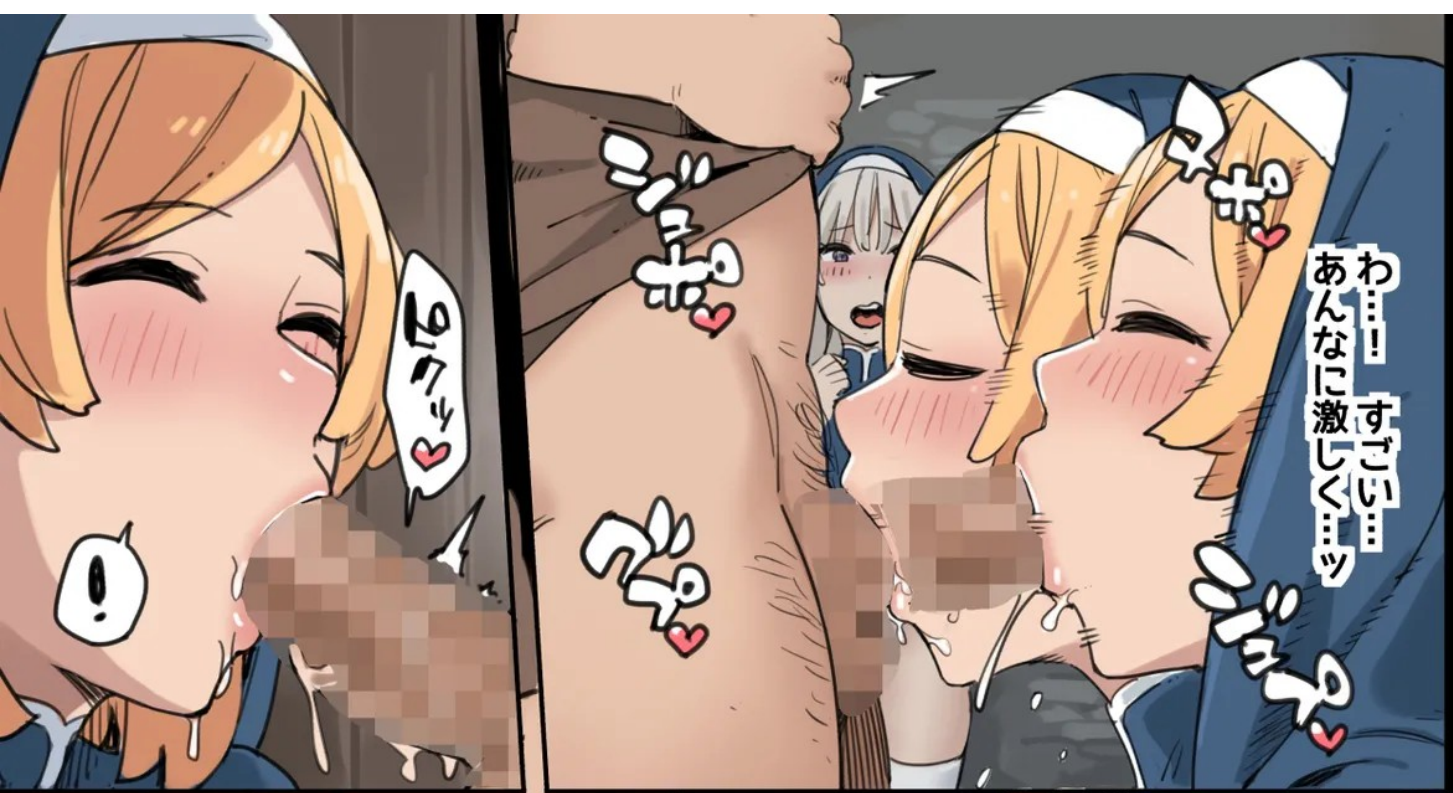
ど、どんな  
感じなの...ッ?!

ああ...私も...ッ

すっす音...ッ

ち、チ●ポのニオイが  
こじまて...ッ

じわっ♡



わ……！ す……！  
あんなに激しく……ッ

ア……ッ

ア……ッ  
ア……ッ

ア……ッ



えッ?! なに……?!  
白いのが……ッ

ア……ッ  
ア……ッ

ア……ッ

ん……♡  
ア……ッ

あ……これが  
しゃ、射精……ッ?!



どんな味、どんなニオイが……

私も飲んでみたい……ッ!!



口の中に精液を  
出されたんだ……

飲み込んだの……?!  
お、美味しいのかな……?!

れ……ッ……♡





目の前で  
アリアさんが  
セックスしてる…ッ

おマ●コにチ●ポ  
ズボズボしちゃってるッ

ア…ッ

ア…ッ

ア…ッ

ア…ッ

ア…ッ

いせらしい声…ッ

気持ち良ナクも…ッ…

ア…ッ

ア…ッ

ア…ッ



わ、私も…ッ

ア…ッ

ア…ッ

ア…ッ

ア…ッ

ア…ッ

ア…ッ

ア…ッ

イクッ!





騙しましたね  
アリアさん!

やっぱり  
ウワサ通りじゃ  
ないですか!

フフフー  
実はそうなの  
ゴメンね

でも本当って  
認めたら見学に  
来ないでしょ?

まあ...それは...



下層に住む男性は  
貧しいから結婚も  
女の人を買うことも  
出来ないのよ

そんなこんなで  
下層の男性は  
女の人を襲って  
しまうの

確かに...  
下層の住人の  
そういう問題は  
たまに  
聞きますね...



そこで  
奉仕部の  
出番よ!  
私達が定期的に  
エッチすれば  
女の人を  
襲わなくなる!

すると下層の男性は  
捕まることもなく  
仕事や日々の生活に  
集中できる、と!  
ね?  
ええ...?  
大事なお仕事  
でしょ?

さて次の家に  
行きましょう  
あ、そうだ!  
次の家は  
リンナちゃん  
ヤッてみる?

えッ?!  
わ、私がッ?!



って、さすがに  
イヤよね…

ごめんなさいね  
行きましょう！

う…!!  
えあ…っ

ま、待って  
ください！

ヤ、ヤッて  
みてもいい  
ですよ…!!

べ、別に  
やりたい  
わけじゃ  
ないんすが！

や、その…!!

ここまで  
来たら体験する  
義務がある  
気がするよな！



こ、こういうものは  
見ているだけでは  
わからないことも  
ありますから！

そ、それに…!  
アリアさんの  
休憩時間も作れ  
お手伝いにも  
なりますし！

あらあら  
嬉しいわ

さ、さあ  
行きましょう！

よしよし  
作戦成功！

もらったわね！





アリアさんが見てるのに……

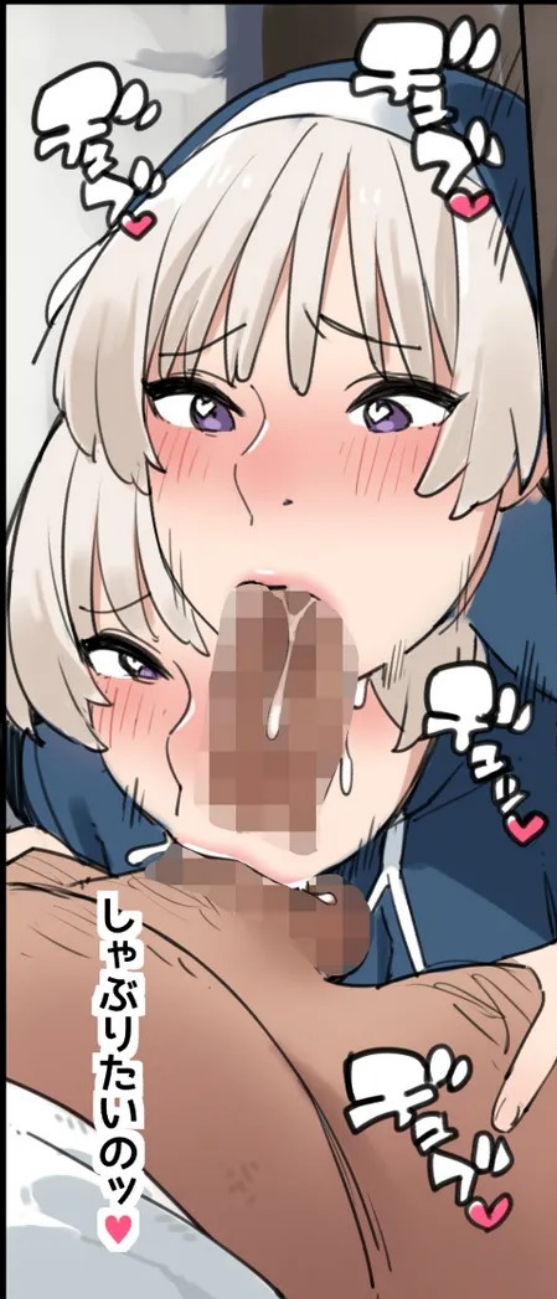
やめられない……ッ

リンナちゃん  
そろそろ  
おチ●ポの  
掃除を

ふあ、ふあい……!



舌を絡めるキスが  
こんな気持ちいいなんて……ッ



すごいニオイ……ここまで臭う……  
このチ●ポを私の口に……?



もわ……



アリア……



何でこんなに……

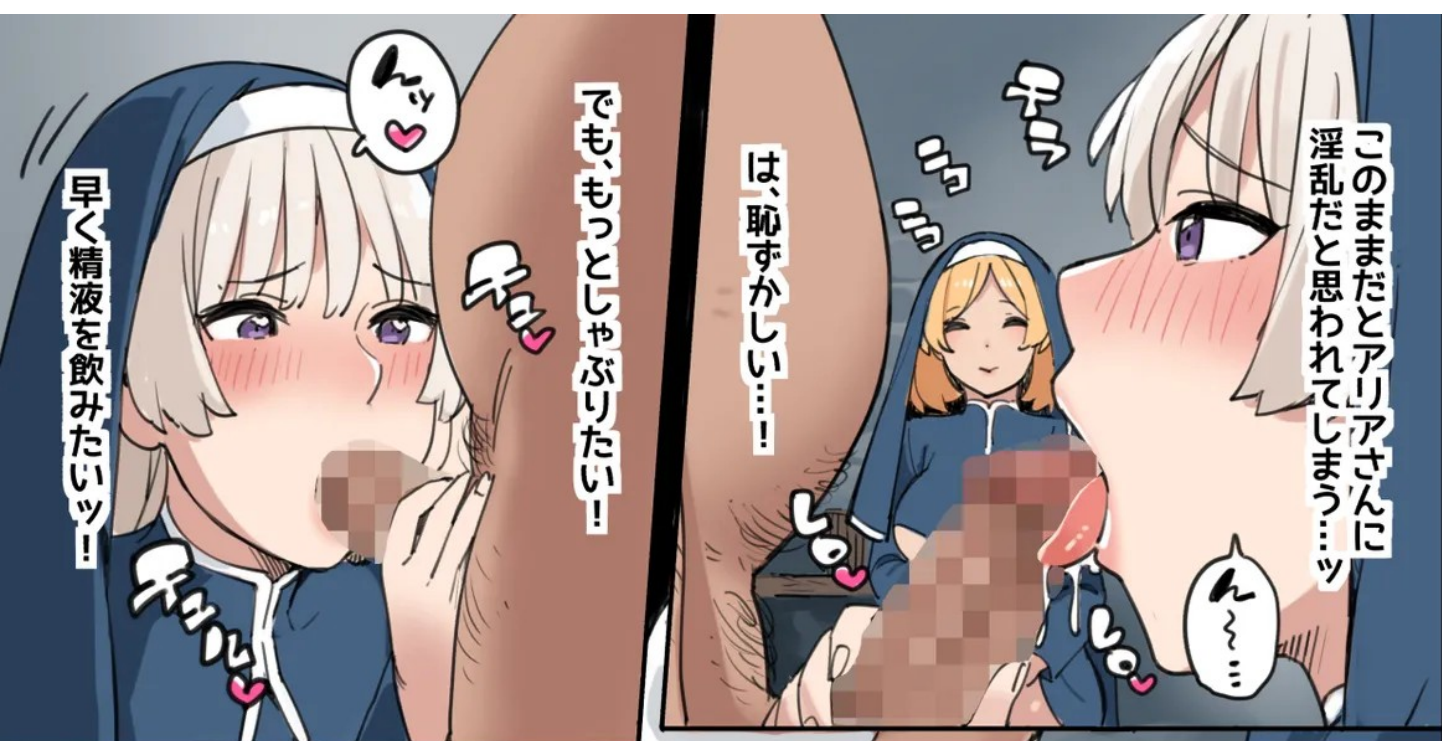


洗ってないんだ……

汚い……  
こんなイヤなのに……ッ

し、失礼  
します……ッ

しゃぶりたいのッ



早く精液を飲みたいッ!

でも、もっとしゃぶりしたい!

このままだとアリアさんに淫乱だと思われるってしまうッ!

は、恥ずかしい…!



もうガマン出来ないッ  
千〇ポツッ! 千〇ポツッ!

ああもうッ!  
どう思われてもいいッ!

あら  
あら



これは…  
出る…! 精液でるッ!

お…!

あ…! 大きく…ッ  
脈もうって…!

精液…ッセーえきッ



すごいニオイ…ッ  
これが精液…!!

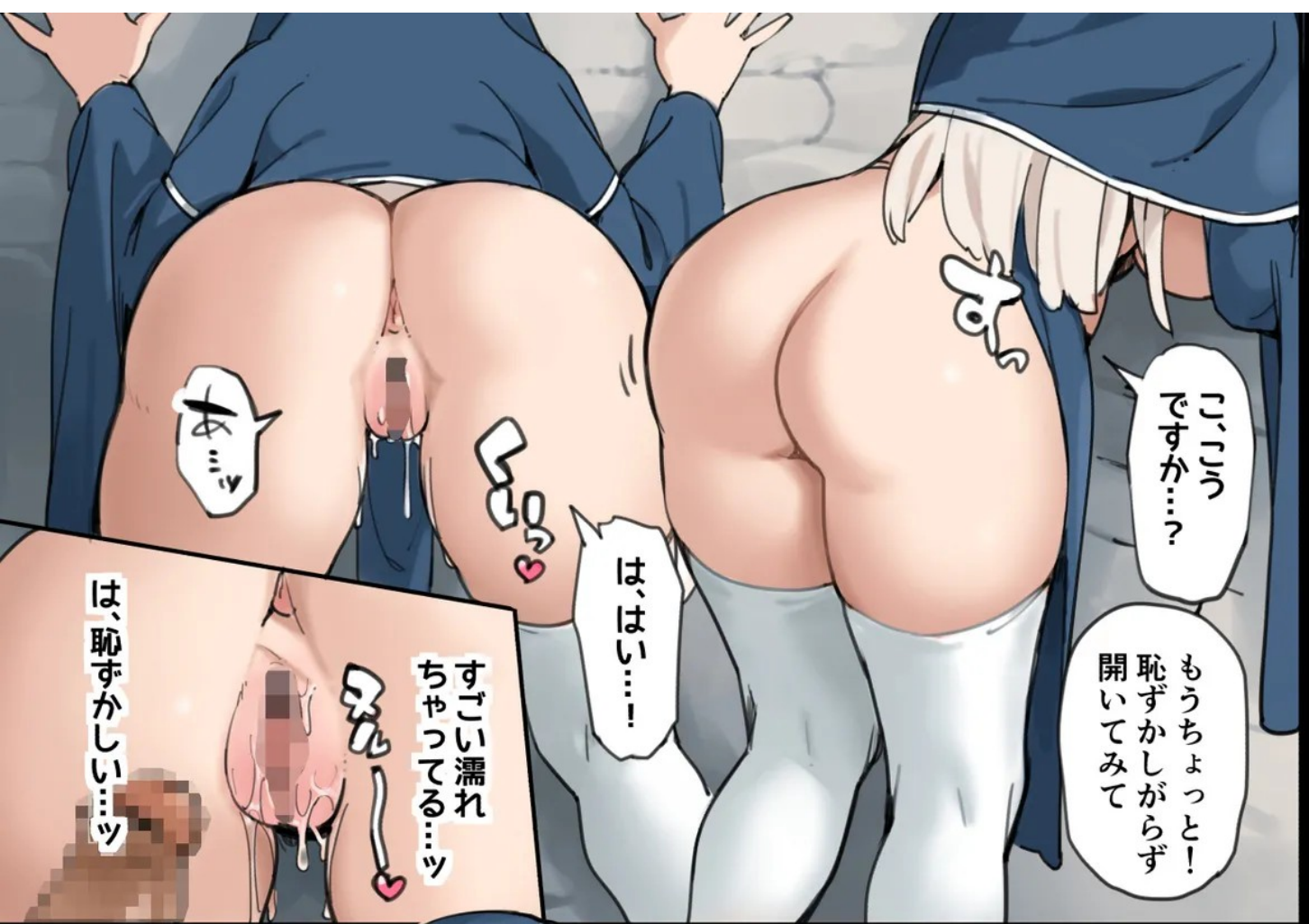
のどに絡みついてきて…



おいしい…!!  
これが男の味…♡

チ●ポのお掃除は  
これで終わり…

次はいよいよ…ッ







気持ちよくなってるのがバレたら奉仕部に入れられちゃう…

「声…アリアさんに聞かれちゃう…」

奉仕部なんてイヤ…!



声を出して もっと気持ちよくなりたい♡

でも♡気持ちいい♡



だ、ダメッ！  
そんなに  
激しくしたらッ

声でちゅっ♡



は、激しいッ！

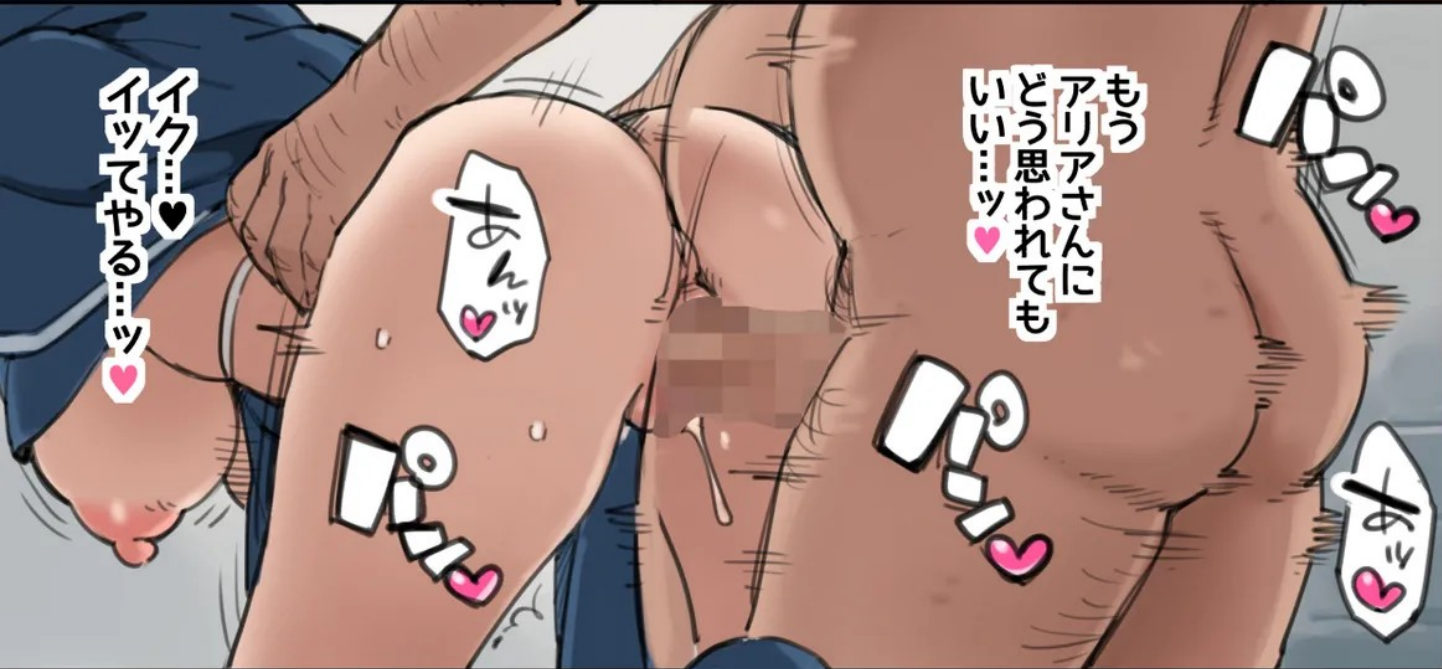
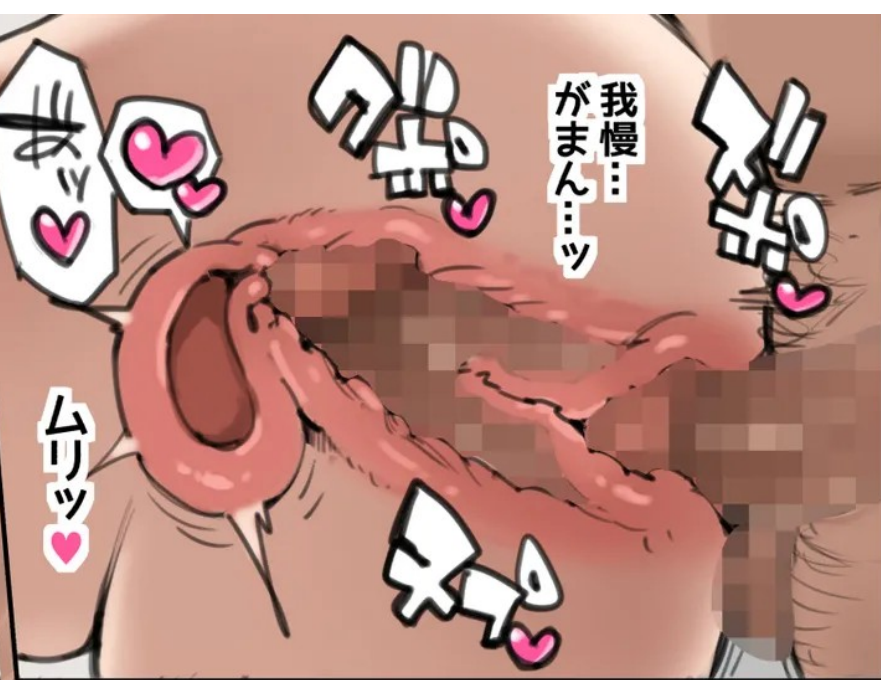


早く…早く射精してッ！



あッ！  
イ、イク…ッ♡

アリアさんの  
前でイクなんて  
ダメ…ッ！







リンナちゃん  
上手だったわ!

奉仕部って  
いいでしょう?

キレイだし  
才能あるし...

ぜひ奉仕部に  
入ってほしいん  
だけど...

ふう...

そのこと  
ですが...



奉仕部には  
入りません

ウワサ通り  
体を許して...

良くないと  
思います!

しまった!  
イッてスツキリ  
しちゃってる!!!

賢者モード!!!



それでは  
失礼します

あっ  
リンナ  
ちゃん!



奉仕部に入るのも  
時間の問題よ♪

といっても  
エッチの快感を  
知ってしまった  
わけだから……

フフ……!

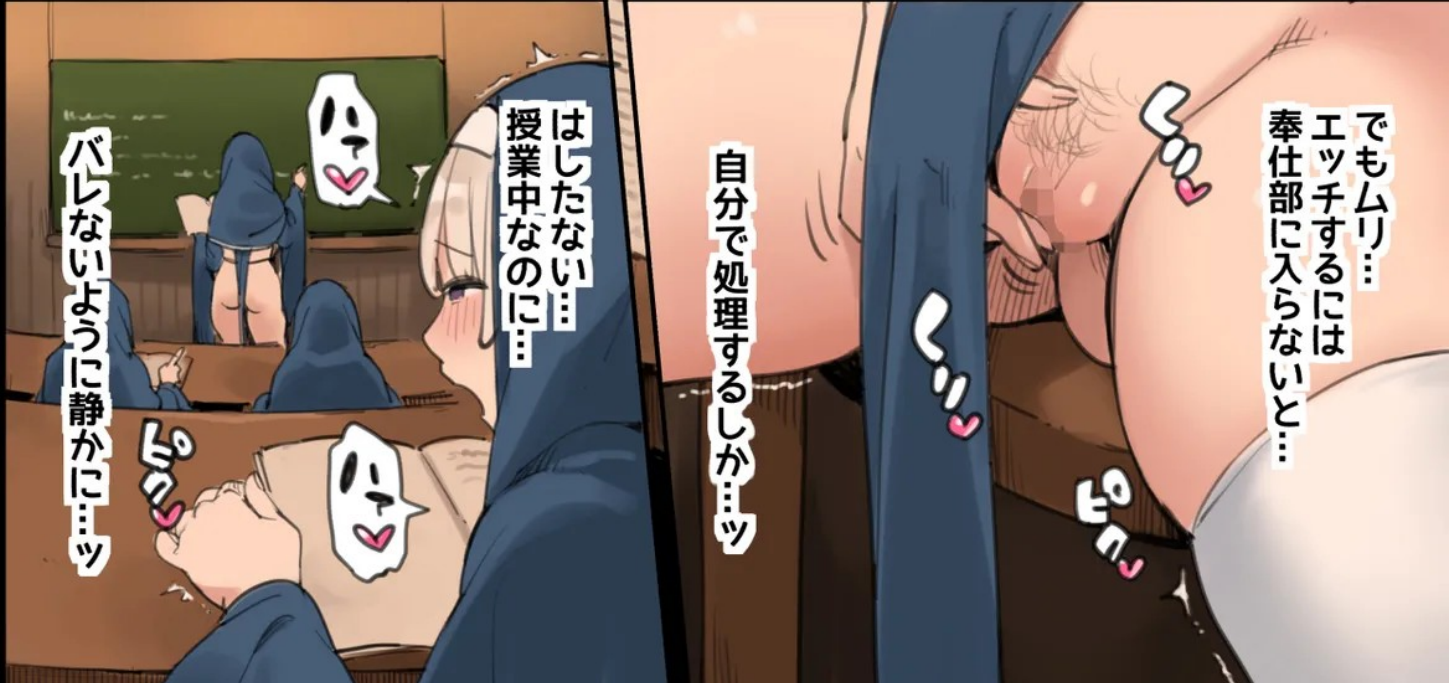


翌日

だ、ダメだ……  
昨日のエッチを  
思い出してしまって  
集中できない……

エッチしたい……!

ん……!

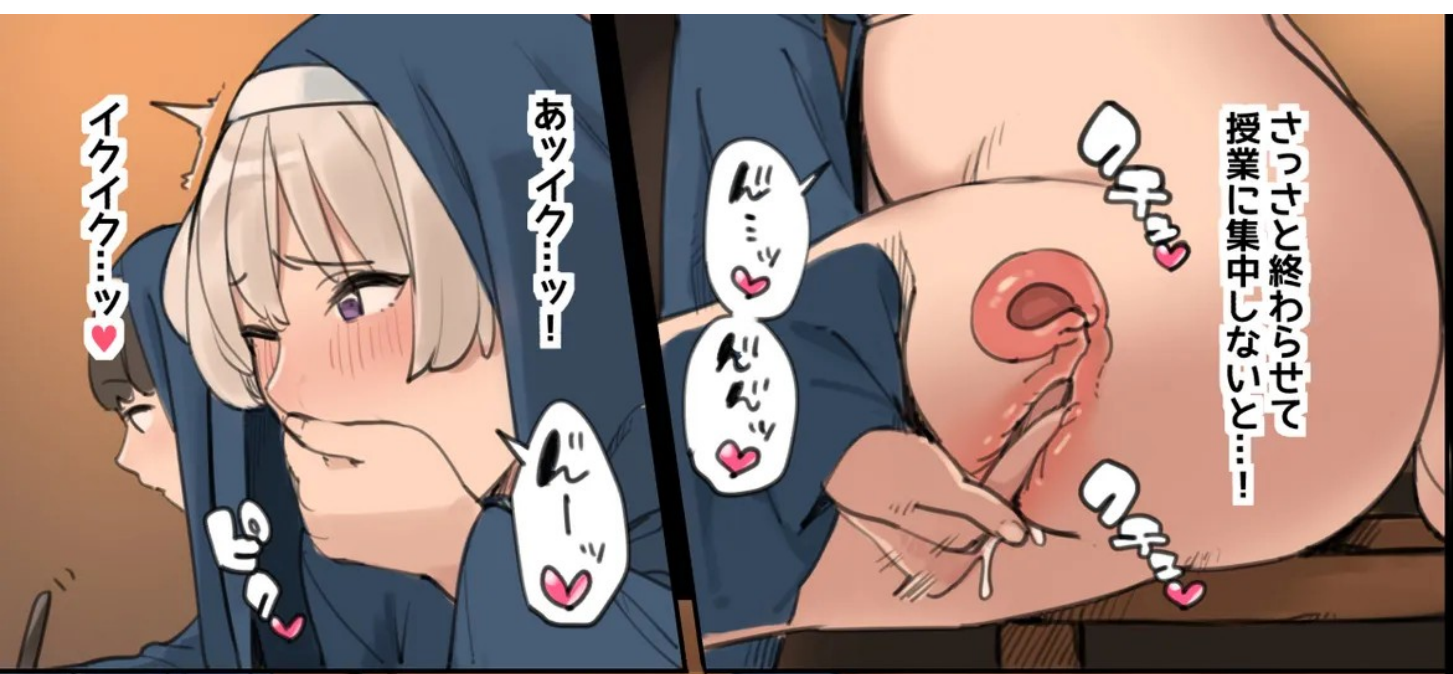


でもムリ……  
エッチするには  
奉仕部に入らないと……

自分で処理するしか……ッ

はしたない……  
授業中なのに……

バレないように静かに……ッ



ナ...と終わらせて  
授業に集中しないと...!!

イクイク...ッ♡

あッイク...ッ!

ん...ッ♡  
ん...ッ♡

ん...ッ♡



あッ♡

ん...ッ♡

ビク...♡

イクク...ッ♡

ビク...♡



はあ...最高...ッ♡

ぽけ♡

ではこの問題を...  
リンナさん!

へ?  
はい?!

ナ...ッ♡

え、ええと...

わかり  
ません...

リンナさんが  
わからないなんて  
珍しいわね...

風邪でも  
ひいた?

す、すみません...

なんてこと…!!  
問題に答えられなかった…!!

ぐくやしい…!!

この性欲を  
どうにかしなければ…!!

これは  
自分だけでは  
対処出来ない…!!

だからこれは  
仕方ないこと…!!

授業に  
集中するため…!!

カチヤ

こ、  
こんにちは…!!  
ほ…  
奉仕部です!

え…?!  
あ!  
あー!!

そうですね!  
リストの名前を  
見間違えました!

白紙

あん?  
奉仕部?

来るのは  
明日だろ?

でも…その…  
時間があるので  
出来ますが…

ど、どうします…?



このまま  
エッチして帰る  
カンペキな作戦！

よし…狙い通り…!!  
家に入り込めた

ん…♡

ん…♡

ん…♡

ん…♡

ん…♡



ん…♡

ん…♡



これこれ！  
たまらない…♡

このチンポも  
スゴイ匂い…♡

ん…♡

ん…♡

ん…♡



ん…♡

ぐへる♡…♡

お、押さえつけられて…♡



ん…♡

ズ…♡

私の口が  
乱暴に犯されてる…ッ

んっ  
♡

臭いチ●ポで  
犯されて…ッ

苦しいの…ッ

興奮する…ッ

気持ちいいッ  
♡

あ…イクッ!!

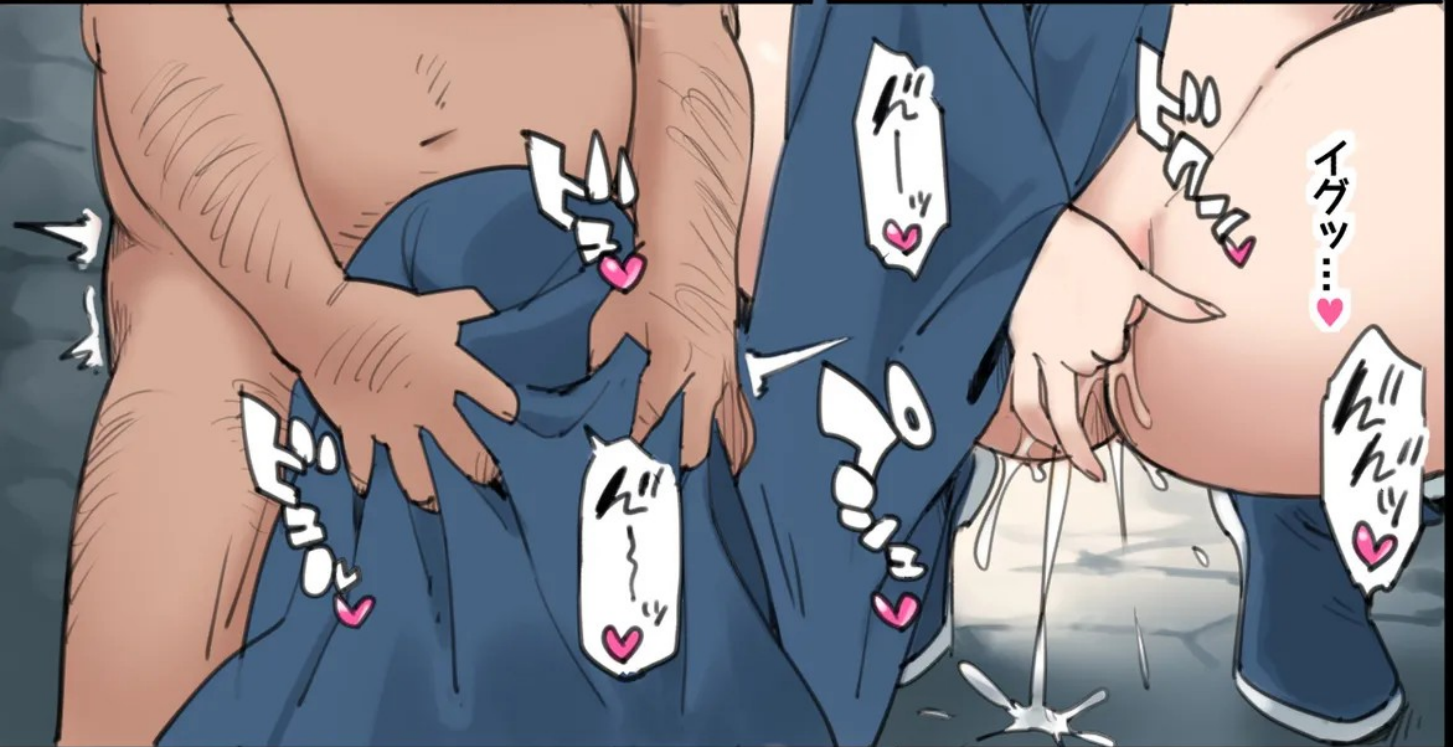
口を犯されて  
イッチャウッ  
♡



喉の…奥で…ッ♡



来たッ♡射精ッ♡



イグッ…♡



千●米わん「ん…ん」♡



き、きせすさ…ん…ん♡

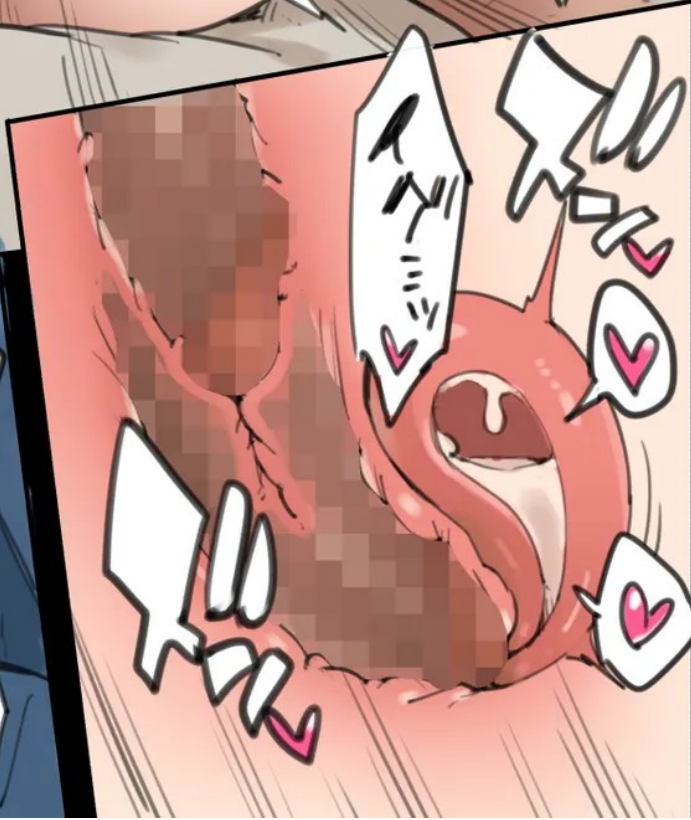
スゴイツこの体勢ツ♡

子宮突き上げられてツ  
気持ちイイツ♡

またイツちやうツ♡















今日は…

最初は  
あの人ね〜

大変なのよね  
性欲が強くて

まあ  
嫌いじゃ  
ないけど…♡



おはよう  
ございます〜



ん?  
奉仕部…?

はい!  
おまたせ  
しました

どういう  
ことだ?

もう  
来てるぞ

……え?



ほら

ええッ?!

リンナちゃん?!

ここで  
何してるの?!

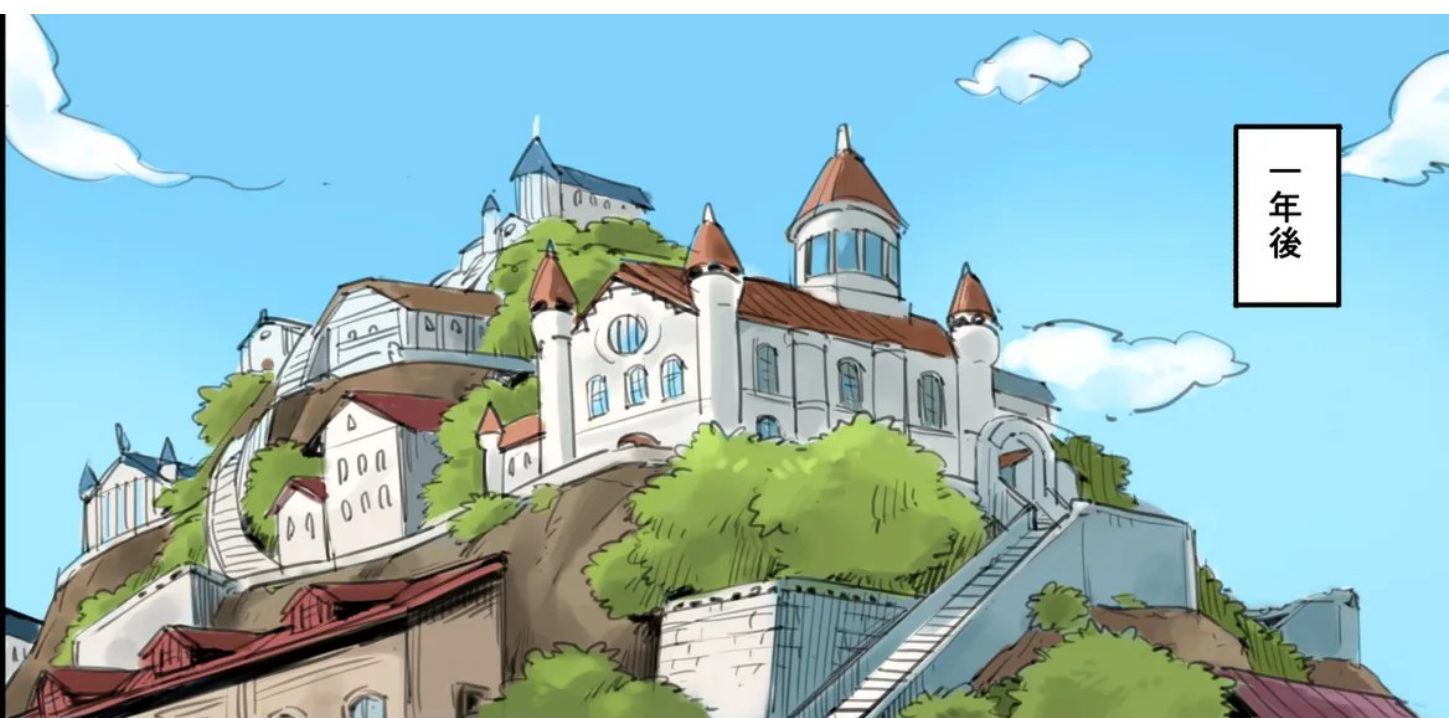
んん…?

げっ  
アリアさんッ?!

いいえこれは…  
そのお…ッ

あら  
あら…

一年後



二人は確か  
今年卒業だった  
わよね？

ごきげんよう  
リンナさん

あ！  
リンナさん

あら  
ごきげんよう  
二人とも

はい！



あまり  
良い話を  
聞かないと  
いうか…

でも…  
奉仕部って…

私のいる奉仕部の  
見学に来てみない？

え…？  
奉仕部？

ああ  
悪いウワサの  
ことね？



大丈夫っ！

ウワサは全部ウソだから！

そうなんですか？

リンナさんが  
そう言うなら  
信じますが…



そうそう！  
私を信じて！

さあ  
行きましょう！

じゃあ  
一度だけ…



フフフ！



終

ぽんぽん♡